

さかきまさと通信

後援会だより No. 2301

新年明けましておめでとうございます。

地域の皆様方には、清々しい新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

日頃より、地域の振興と発展にご理解とご尽力を賜り、深く感謝申し上げますと共に私の議会活動及び後援会活動に対しても、深いご理解と温かいご支援を賜り、重ねて心よりお礼申し上げます次第であります。

昨年12月3日に召集されました12月定例会の冒頭における私約交代により、片岸議長、才川副議長が就任し、新しい議会構成で臨むことになりました。

私は、産業建設常任委員会に所属が決まるとともに都市計画審議会委員も拝命し、これまでと同様に誠心誠意議会活動に取り組んでまいりたいと、気持ちを新たにしているところであります。

さて国政においては、尖閣諸島や北方領土など外交関係に大きな課題を抱えながら、なかなか日本経済の回復基調が見出せない状況のなか、民主党政権は子ども手当や米個別所得補償制度などのバラ撒き政策の転換を見送り、過去最大の92.4兆円に上る新年度予算を発表しました。

これは、国債発行額が税収を上回るという大きなツケを後世に残すとともに、地方交付税が減額されるもので、地方自治体の財政にとって少なからず影響があるものと予想され、今後の推移を見守らなければなりません。

市政においては、福光東部小学校の大規模改修や特別養護老人ホーム「やすらぎ荘」の改築スケジュールが明らかになり、統合保育園の建設候補地選定が進むなど、山田地区に関係する大型事業が着実に進められておりますが、昨年末に公共施設の再配置に関する方針が示され、施設の統廃合に関する議論が本格化することになりました。職員適正化計画と共に、南砺市の将来を見据えた取り組みが求められていると考えるところであります。

そんな中、9月の定例会において議員定数に関する採決が行われ、地域の皆様方に変なご心配とご迷惑をお掛けしたことに對し、お詫び申し上げますが、結果を真摯に受け止め、市政報告会や座談会を通じ地域の振興と発展を皆さまと共に考えていきたいと思っておりますので、変わらぬご支持とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健康とご多幸をご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

ご意見やご相談は下記の連絡先へ

携帯電話 090-3295-6400

メール msakaki@topaz.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.sakakimasato.jp>

ブログ <http://msakakiblog.nanto-e.com>



委員会室での模様